

令和 2 年度 第 2 回番組審議会 議事録

開催方法 : 今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委員による試聴レポート提出にて、書面での開催といたしました。

提出者 : 番組審議会委員 3 名

委員名 : 金子 富康、上田 薫子、伊藤 ゆかり、齊藤 進治、岩崎 高広

事務局 : 藤芳 祥子、濱野 歩、岩崎 和沙

議事録 : 藤芳 祥子

議題 1 議題の放送番組全般に関するご意見・ご感想

審議番組名「Evening station」収録放送

パーソナリティ：濱野歩

放送時間 6月22日(月) 17:00~18:55 放送

■ 議題番組について (事務局から文書にてご説明)

【番組制作のきっかけ】

ラジオを通して、戸塚の新しいカルチャーを発信していきたいと考え、昨年10月の改編を機に、エフエム戸塚のエンターテインメント音楽プログラムとしての concept を強くもちリニューアルスタートしました。2時間生放送番組では、地元のイブステファミリー(戸塚の街にアプローチしたいクリエイター・アーティスト)がゲストとして日替わりで登場します。

【経緯】

2010年4月の開局と同時に17時台1時間の生放送番組「Totty Hour」でスタートしました。新しい音楽と、ニュース・天気・交通情報をコンパクトにまとめた夕方の生放送番組でした。

2013年4月から、夕方の生放送番組(17時から2時間)の『とつか Evening station』がリニューアルスタートし、戸塚を中心とした地元の情報を主に、ニュース・天気・交通を届ける番組として定着しました。

2019年10月より地元のアフター5を彩るグットミュージックプログラムとしてスタートしました。

【2020年リニューアル内容と目的】

2020年4月から、更に「戸塚のカルチャー」に焦点を当てて放送するプログラムとなりました。主なりリニューアル内容として、戸塚の街にアプローチしたいクリエイターや、アーティストがイブステファミリーとして日替わりで登場するコーナーがあります。毎週月曜日は、電車で詳しい戸塚出身の小学3年生パーソナリティのはやてくん(カラオケバトルなどでテレビ出演をしており、エフエム戸塚の恒例イベント“カラオケコンテスト”でも感動を揺さぶる歌声を披露してくれる加藤礼愛さんの弟です。)のコーナー『はやてくんのワクワク電車 RADIO』、水曜日はDJベータケと、DJ KENMAKI が最新の曲などをミックスしてお届けするコーナー『イブステ DJ MIX SHOW』、木曜日は戸塚ソングコンテストで優勝経験のあるシンガーソングライターの古山潤一さん

のコーナー『古山潤一の洋楽カバーをしよう!』をお届けしています。そして金曜日は振付師やバックダンサーとしても活躍するドラアグクイーンの枝豆順子がDJとしてプログラムを進めていきます。

【各審議委員からの試聴意見・感想は以下の通り】

審議委員（A）

- ・パーソナリティーの方の声が明るく軽快で、聞いていて心地よいです。
- ・2時間と長い番組で、かつ夕方比較的忙しい時間帯の番組ですが、道路状況・天気などの情報と音楽やコメント、「はやて君の鉄道コーナー」など、内容に巾があって、ながら聞きの人にも楽しめると思いました。
- ・「はやてくんのコーナー」は、なかなか面白く、「この人はどういう人なのか、なぜエフエム戸塚に出演することになったのか」など聞きながら興味が湧くので、リピーターでない人にも分かるよう番組中で毎回簡単に紹介が入ると良いのではと思いました。

審議委員（B）

- ・始まりはとても衝撃的で、濱野歩パーソナリティがディスクジョッキーのように感じました。
- ・小生の個人意見で恐縮ですが、とっても先を急いでいる感じがして凄く早口で放送しているように感じました。
- ・今回は「斉藤和義」特集との事でした。沢山の曲が流れるのですが、「斉藤和義」ファンにとってはたまらないのでしょうか、ファンで無いリスナーは放送を聞かなくなってしまうのでは無いですか？「斉藤和義」特集」とは言え他の曲も考えた方が良いのでは無いですか？特集の難しいところですね。放送時間が午後5時～7時の間ですから、視聴者の年齢層とか？どんな状況で聴いているか？（運転している）
- ・ワクワク電車レディオは、興味のある人にはとっても楽しく聞けると思われますが電車とか時刻表とかに興味がないと、聞かないのではないのでしょうか？只番組の構成上必要であるならば迂闊には講評できませんが？
- ・今回のコンセプトがエンターテイメント音楽プログラムとの事でした、音楽でわくわくする時間をリスナーに届ける事としましたら、放送の内容が理解出来るような気がします。
- ・必要な情報として、ニュース・天気情報・交通情報がタイミング良く、出てきますのでとっても良かったですね。
- ・一つだけ、「コナカ」さんのコマーシャルの伝え方を考えないとリスナーに伝わりませんよ！！

審議員（C）

- ・パーソナリティ「濱野歩」さんには、今回のCDで初めてお会いしました。ご本人とは番組審議会以外でもイベントなどで時々普段の声は聞いていたはずですが、しかし、思い込みかもしれませんが、あの濱野さんの声は聞いたはずだったのですが、CDの聞き始めからしばらくの間、私自身が感じたものが何なのか分からないまま、先へ進みました。経験豊かなパーソナリティはとっても上手に進行していきます。
- ・CD2枚目まで聞き通しましたが、前半と後半の2回に分けて出演した、イブステファミリーはやくんの妄想電車旅には身を乗り出すように話に引き込まれていく感じがしました。子どもらしい話し方でしたが、中身はその道の専門家、かなりの愛好家と思えるようなガイドぶり。話の内容にもテンポがあり、ポイントポイン

トの見所や話題のスポットなどを紹介し、クイズ仕立ての電車の旅の楽しみ方を誘っていく流れは、聞き応えがありました。毎週月曜日という定番ゲストというのもうなずけます。

冒頭の自問自答したことは一体なんだろうか、と改めて8月3日の放送を2時間聞いてみました。

まず、最初の印象は、この日は濱野さんではなく、「若くて明るく張りのある声のパーソナリティ」だろうと思ったことでした。はやてくんの出番でのやりとりでも、別の人。その後、ジングルと濱野歩の名前が出てきました。実は私の思い込みの理由と思われる、そのうちの一つをリスナーのお便りから読み取れたような気がしました。

リスナー「歩さん、今日は乗ってますね！先週と大違い。」歩さんが応じて「そう！だって梅雨明け、夏の到来だもの」。リスナー「クールな歩さん・・・」。

リスナー（斎藤）の勝手な思い込みが、パーソナリティの本のわずかな出だしの言葉のトーンだけに、なぜか反応してしまったようです。ということは、今回のCDはクールな濱野さんとの出会いだっように思いました。

■ 事務局から

・番組のコンセプトは、良質な音楽などのコンテンツ作りを通して、これからの戸塚の新しいカルチャーを発信するというものです。「新しいカルチャーを発信する」とは、もちろん最新の流行を発信するという面もありますが、自分にとって知らなかった音楽やカルチャーを新しく知って興味をもつきっかけになれば、という思いもあります。

他の生ワイド番組「おはよう！咲くらじお」や「戸塚井戸端会議。」は、幅広い世代に向けた音楽を流していますが、「Evening station」に関しましては、上記のコンセプトの理由で特集を組んだりすることもあります。

また、「リスナーと作るプレイリスト」をもテーマとして掲げており、例えば、「今日はあなたが夏に聴きたい音楽を募集します」などといったように毎日違うお題を決めて楽曲のリクエストを募り、リスナーからのリクエストメールから楽曲を選曲し、リスナーを巻き込んだ番組を展開しています。

興味がない人でも、興味を持ってもらえるような流れを今後更に考え、制作していきます。

・この4月から、イブステファミリーを取り入れた改編となりました。こちらも、なるべく興味のない人でも参加して頂きたいという思いから、月曜日はクイズなどを取り入れていますが、更に楽しい構成となるよう考えていきます。

・出演者は常に、言葉のトーン等に意識を払い、どんな時でも同じテンションを保ちながら、DJそしてイブステファミリーの個性も出していけるような放送をしていきます。

議 題 2 エフエム戸塚の放送に関するご意見ご感想について

■ 各審議委員からの試聴意見・感想は以下の通り

審議委員（A）

・現在のコロナ感染の中で情報を集めるのも大変でしょうし、外の取材も大変難しいと思われます。また、リモートなど工夫して放送をされていると思います。リスナーがエフエム戸塚さんの放送を聞いて元気になるように頑張りたいと思っています。

■ 事務局から

- ・リスナーの皆様のご意見等をいただき、番組制作に生かすために、エフエム戸塚ホームページ上に、レビュー（会員制）欄を設けました。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2020年12月現在、室内での取材を制限しております。スタジオ内の人数制限もしており、ゲストの方には原則電話出演をお願いしており、生出演は見合わせています。自宅での楽しみをより一層求めるこのご時世、ラジオの前でリスナーのみなさまが繋がり、楽しんでいただけるような番組制作を行ってまいります。

■ 上記、各審議委員からのご意見に事務局から下記の回答を併せて、郵送いたします。

■ 次回の番組審議会開催について

エフエム戸塚の「新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み」について、12月以降も継続して行っていきます。次回開催につきましては、今回同様、紙面において開催を予定しております。

追って、議題・音源データをご送付いたします。その際には、ご協力のほど、お願い申し上げます。

以 上